

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表										
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	754-3604					
部 名	生涯学習部	課 名	市立図書館	課長名	小林清志					
事務事業名	市立図書館サービス経費									
予算上の事務事業名	市立図書館サービス経費									
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110							
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして									
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります									
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度					
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼					
2 実施根拠及び関連法令・条例等										
図書館法、著作権法										
3 個別計画の概要			概要							
計画名										
計画年次	年度～	年度								
4 事業形態の区分 ▼										
5 事業概要										
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)							
<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習を支援し、視聴覚資料 (ビデオ、CD) の収集及び視聴覚障害者サービス (録音図書等の収集等) を実施し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資する。 児童文学講座を開催する。 著作権法に基づく複写サービスを実施する。 			市民 (在勤・在学者、広域利用協定締結をしている市町の住民ほか)							
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。										
・視聴覚資料の充実	購入点数	所蔵点数	貸出点数 (館内含む)	⑩購入予算額	⑪執行済額					
ビデオ	29点	5630点	56,708点	187,500円	186,709円					
C D	85点	5461点	32,370点	93,750円	93,615円					
録音図書	24点	1769点	226点	98,000円	99,205円					
L D	0点	453点	166点	0円	0円					
・児童文学講座「読み聞かせボランティア養成講座」の開催			全4回講座	参加者30人						
・図書等複写サービス (利用52,171枚)										
6 関連・類似事業や他市の状況										
	VD	LD	CD	録音	CD-ROM	VD	LD	CD	録音	CD
-ROM										
厚木市	○	×	○	○	×	横浜市	○	○	○	○
横須賀市	○	○	○	○	×	町田市	○	○	○	×
7 事業費の推移 [単位：千円]										
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度					
事業費	3,774	2,717	2,838	2,912	2,912					
一般財源	3,298	2,402	2,158	2,352	2,352					
受益者負担金	0	0	0	0	0					
その他の特定財源	476	315	680	560	560					
人件費の合計	21,746	21,867	21,827	17,447	17,447					
事業コスト合計	25,520	24,584	24,665	20,359	20,359					
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率										
事業名 (または、主たる事業名)	視聴覚資料の充実 (ビデオ・CD・録音図書)			対象名称と単位	購入本数 (本)					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度					
事業コスト(主たる事業)	774	377	380	380	380					
対象数	235	131	133	115	115					
単位あたり経費(円)	3,294	2,878	2,857	3,304	3,304					
前年度比		0.87	0.99	1.16	1.00					

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	視聴覚資料購入目標達成率	指標式と指標の説明	視聴覚資料購入目標を予算執行状況により把握 922,000/930,000×100=99.1%		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	97.0	99.6	99.1		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	97.0	99.6	99.1		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	視聴覚資料貸出回転率	指標式と指標の説明	全視聴覚資料の平均貸出を算出し、活用割合を把握 89,470/13,313=6.72		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	8.8	7.6	6.7		
目標	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		映像資料については、種類が多様で保存・蓄積面で難しさが有り、また、著作権の関係で高価で、市民の要求に十分な対応ができないのが現状である。現在、ビデオを中心に収集している視聴覚資料について、今後の収集や提供方針を再検討する必要があることから「見直し」の評価とする。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
相模大野図書館・橋本図書館との連携や収集等の分担を再度検討する。 また、市立図書館に関しては、視聴覚ライブラリーとの連携、事務移管なども効率性を高めるために検討の余地がある。			視聴覚資料は、市民ニーズに答えきれず不十分な状態であり、市立図書館における利用者は減少傾向にある。視聴覚資料として収集・保存する分野や媒体の方向性、提供方法（貸出・視聴）などについて、再検討の必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		民間事業者との役割分担を整理する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			